

みずほマーケット・トピック(2018年11月30日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みです。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さいませ。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・ 今週のドル/円相場は堅調推移後に反落した。週初26日に112円台後半でオープンしたドル/円は一時週安値となる112.88円をつけたが、先週のブラックフライデーの売上が非常に好調だったことから今年の年末商戦が近年稀にみる良好な結果になるのではとの期待感が強まり、先週大幅に下落した米国株が上げ幅を拡大し、米国債利回りも上昇基調。リスク選好の動きが戻り、ドル/円は一本調子で113円台半ばまで上昇した。27日も前日の流れを引き継ぎ、加えて、クドロー米NEC委員長の「12月1日に米中首脳会談を予定。協議の成果に期待するが、追加関税の用意もある」との発言に113円台後半まで上伸した。28日は米国債利回り・米国株の上昇にサポートされ一時週高値となる114.03円をつけた。しかし、パウエルFRB議長が講演で「政策に規定路線はなく、金利は中立レンジをやや下回る」、「利上げの影響は不確実で顕在化に1年以上かかる可能性がある」と発言し金融政策引き締めめに慎重になっているとの見方から113円台半ばまで急落した。29日は前日のパウエル議長の発言を受けて来年以降の追加利上げ期待の後退が意識され113円台前半まで続落したが、「トランプ米大統領が中国と何かすることは極めて低いと述べた」と報じられ、米中貿易摩擦緩和への期待から113円台半ばまで回復。本日のドル/円は113円台前半で推移している。
- ・ 今週のユーロ/ドル相場はパウエル議長の発言後に急伸する展開。週初26日に1.13台前半でオープンしたユーロ/ドルは、「イタリア政府がEUによる制裁発動回避に向け協議をしている」と関係筋からの情報として伝わると1.13台後半まで値を上げた。しかし、ドラギECB総裁が「最近の経済指標は予想よりも弱く、大規模な金融緩和が依然必要」との見解を表明したことや、米金利上昇を受けたドル高に1.13台前半まで反落した。27日は英政府とEUとの間でブレグジットの合意がされたものの、英議会での採決を巡る不透明感から上値重く推移。その後「トランプ米大統領が今週のG20首脳会談後に自動車関税を発動する可能性がある」と報じられ1.12台後半まで下落した。28日は「EUによるイタリアへの制裁措置がクリスマス前に開始する計画」と伝わると一時週安値となる1.1267をつけたが、パウエル議長の発言に1.13台後半まで急伸。29日は予想より弱い米経済指標を受け一時週高値となる1.1402をつけ、本日のユーロ/ドルは1.13台後半で推移している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		11/23(Fri)	11/26(Mon)	11/27(Tue)	11/28(Wed)	11/29(Thu)	
ドル/円	東京9:00	113.00	112.92	113.50	113.79	113.56	
	High	113.01	113.65	113.84	114.03	113.66	
	Low	112.67	112.88	113.42	113.45	113.19	
	NY 17:00	112.98	113.60	113.77	113.67	113.48	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1402	1.1338	1.1334	1.1297	1.1368	
	High	1.1421	1.1383	1.1343	1.1387	1.1402	
	Low	1.1328	1.1325	1.1277	1.1267	1.1349	
	NY 17:00	1.1337	1.1328	1.1289	1.1366	1.1395	
ユーロ/円	東京9:00	128.86	128.05	128.66	128.55	129.10	
	High	128.92	128.90	128.84	129.25	129.30	
	Low	127.84	127.95	128.38	128.26	128.68	
	NY 17:00	127.99	128.68	128.54	129.19	129.28	
日経平均株価		21,646.55	21,812.00	21,952.40	22,177.02	22,262.60	
TOPIX		1,628.96	1,632.20	1,644.16	1,653.66	1,659.47	
NYダウ工業株30種平均		24,285.95	24,640.24	24,748.73	25,366.43	25,338.84	
NASDAQ		6,938.98	7,081.85	7,082.70	7,291.59	7,273.08	
日本10年債		0.10%	0.09%	0.09%	0.10%	0.08%	
米国10年債		3.04%	3.05%	3.06%	3.06%	3.03%	
原油価格(WTI)		50.42	51.63	51.56	50.29	51.45	
金(NY)		1,223.19	1,222.40	1,215.00	1,221.21	1,224.19	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・米国では、12月3日(月)に11月ISM製造業景気指数が発表される。11月のNY連銀製造業景気指数やフィラデルフィア連銀景気指数、リッチモンド連銀製造業指数、マークイット製造業PMIが前月水準を前後するなか、11月のISM製造業は58.0と10月の57.7から小幅に上昇すると予測されている。他方、5日(水)に発表される11月ISM非製造業景気指数は59.5と10月の60.3から低下すると予測されているものの、水準としては60に近い高めの水準を維持する見通しだ。7日(金)には11月雇用統計が発表される。10月の非農業部門雇用者数は前月比+25.0万人と増加ペースが大幅に加速し、8～10月平均でも+20万人を超えるなど良好な結果となった。11月の非農業部門雇用者数はややペースを落としつつも、前月比+20.5万人と+20万人ペースを維持する見通しである。また9月以降、失業率は1969年12月以来の水準で横ばいとなっており、11月も変わらずの3.7%と予測されている。時間当たり賃金は10月に前年比+3.1%と9月の同+2.8%から加速し、2009年4月以来となる3%超えとなった。11月は同+3.2%とさらに加速すると予測されている。金融政策関連では、今晚にウィリアムズ NY 連銀総裁が講演を行うほか、週明け3日(月)にはカプラン・ダラス連銀総裁、翌5日(水)にはパウエル FRB 議長による議会証言が予定されている。同日には次回FOMC(12月18～19日開催)の討議資料となるページブックが公表されるほか、6日(木)にはボスティック・アトランタ連銀の講演があるなど、米金融政策関連の情報発信が相次いで予定されている。

	本 邦	海 外
11月30日(金)	・10月住宅着工	・ユーロ圏10月失業率 ・ユーロ圏11月消費者物価指数(速報) ・米11月シカゴ購買部協会景気指数 ・G20首脳会議(～12月1日、アルゼンチン) ・米中首脳会談
12月3日(月)	・7～9月期法人企業統計 ・11月自動車販売台数	・ユーロ圏11月製造業PMI(確報) ・米10月建設支出 ・米11月ISM製造業景気指数
4日(火)	・11月マネタリーベース	・ユーロ圏財務相会合
5日(水)	—————	・ユーロ圏11月サービス業PMI(確報) ・米11月ADP雇用統計 ・米11月ISM非製造業景気指数 ・米ページブック
6日(木)	—————	・独10月製造業受注 ・米10月貿易統計・米10月耐久財受注(確報)
7日(金)	・10月毎月勤労統計 ・10月景気動向指数(速報)	・独10月鉱工業生産 ・ユーロ圏7～9月期GDP(確報) ・米11月雇用統計 ・米12月ミシガン大学消費者マインド(速報) ・米10月卸売売上高・米10月消費者信用残高

【当面の主要行事日程(2018年12月～)】

米 FOMC(12月18～19日、1月29～30日、3月19～20日)

ECB 政策理事会(12月13日、1月24日、3月7日)

日銀金融政策決定会合(12月19～20日、1月22～23日、3月14～15日)

EU 首脳会議(12月13～14日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

経済指標カレンダー(2018年11月)

月	火	水	木	金	週末
			1 日本 自動車販売台数(10月) 米国 建設支出(9月) 米国 ISM製造業景気指数(10月)	2 日本 マネタリーベース(10月) ユーロ圏 製造業PMI(確報、10月) 米国 貿易収支(9月) 米国 雇用統計(10月) 米国 失業率(10月) 米国 耐久財受注(確報、9月) 米国 製造業受注(確報、9月)	
5	6 ドイツ 製造業受注(9月) ユーロ圏 サービス業PMI(確報、10月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)	7 日本 毎月勤労統計(9月) 日本 景気動向指数(速報、9月) ドイツ 鉱工業生産(9月) 米国 消費者信用残高(9月) 米国 FOMC(～8日)	8 日本 国際収支(9月) 日本 貸出・預金動向(10月) 日本 景気ウォッチャー調査(10月) ドイツ 貿易収支(9月)	9 日本 マネーストック(10月) 米国 生産者物価(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、11月) 米国 卸売売上高(9月)	
12 日本 国内企業物価(10月)	13 ドイツ 消費者物価(確報、10月) 米国 財政収支(10月)	14 日本 GDP(速報、7～9月期) 日本 第三次産業活動指数(9月) 日本 鉱工業生産(確報、9月) ドイツ GDP(速報、7～9月期) ドイツ 鉱工業生産(9月) ユーロ圏 GDP(速報、7～9月期) ユーロ圏 消費者物価(10月)	15 ユーロ圏 貿易収支(9月) 米国 小売売上高(10月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(11月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(11月) 米国 企業在庫(9月)	16 ユーロ圏 消費者物価指数(確報、10月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル) 米国 鉱工業生産(10月)	17 米国 TICレポート(対外対内証券投資)(9月)
19 日本 貿易収支(10月)	20 米国 住宅着工(10月)	21 米国 耐久財受注(速報、10月) 米国 製造業受注(速報、10月) 米国 景気先行指数(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、11月) 米国 中古住宅販売(10月)	22 日本 全国消費者物価(10月)	23 日本 勤労感謝の日 ドイツ GDP(確報、7～9月期) ユーロ圏 製造業PMI(速報、11月) ユーロ圏 サービス業PMI(速報、11月)	
26 日本 景気動向指数(確報、9月) ドイツ IFO企業景況指数(11月) 米国 シカゴ連銀全米活動指数(10月)	27 日本 企業向けサービス価格(10月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(9月) 米国 消費者信頼感指数(11月)	28 米国 GDP(2次速報、7～9月期) 米国 個人消費(2次速報、7～9月期) 米国 PCEコアデフレーター(2次速報、7～9月期) 米国 新築住宅販売(10月)	29 ドイツ 消費者物価(速報、11月) 米国 個人消費・所得(10月) 米国 FOMC議事要旨(11月7～8日開催分)	30 日本 失業率(10月) 日本 東京都部消費者物価(11月) 日本 鉱工業生産(速報、10月) 日本 新設住宅着工(10月) ユーロ圏 失業率(10月) ユーロ圏 消費者物価指数(速報、11月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(11月) ブエノスアイレス(アルゼンチン) G20首脳会議(～12月1日)	

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2018年12月)

月	火	水	木	金	週末
3 日本 自動車販売台数(11月) ユーロ圏 製造業PMI(確報、11月) 米国 建設支出(10月) 米国 ISM製造業景気指数(11月)	4 日本 マネタリーベース(11月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)	5 ユーロ圏 サービス業PMI(確報、11月) 米国 ADP雇用統計(11月) 米国 ページュブック	6 ドイツ 製造業受注(10月) 米国 貿易収支(10月) 米国 耐久財受注(確報、10月) 米国 製造業受注(確報、10月)	7 日本 毎月勤労統計(10月) 日本 景気動向指数(速報、10月) ドイツ 鉱工業生産(10月) ユーロ圏 GDP(確報、7～9月期) 米国 雇用統計(11月) 米国 失業率(11月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、12月) 米国 卸売売上高(10月) 米国 消費者信用残高(10月)	
10 日本 GDP(確報、7～9月期) 日本 国際収支(10月) 日本 貸出・預金動向(11月) 日本 景気ウォッチャー調査(11月) ドイツ 貿易収支(10月)	11 日本 マネーストック(11月) 米国 生産者物価(11月)	12 日本 国内企業物価(11月) 日本 第三次産業活動指数(10月) ユーロ圏 鉱工業生産(10月) 米国 消費者物価(11月) 米国 財政収支(11月)	13 ドイツ 消費者物価(確報、11月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト) EU首脳会談(～14日)	14 日本 日銀短観(10～12月期) 日本 鉱工業生産(確報、10月) 米国 小売売上高(11月) 米国 鉱工業生産(11月) 米国 企業在庫(10月)	
17 ユーロ圏 貿易収支(10月) ユーロ圏 消費者物価指数(確報、11月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(12月)	18 米国 TICレポート(対外対内証券投資)(10月) ドイツ IFO企業景況指数(12月) 米国 住宅着工(11月) 米国 FOMC(～19日)	19 日本 貿易収支(11月) 日本 金融政策決定会合(～20日) 米国 中古住宅販売(11月)	20 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(12月) 米国 景気先行指数(11月)	21 日本 全国消費者物価(11月) 米国 個人消費・所得(11月) 米国 GDP(3次速報、7～9月期) 米国 個人消費(3次速報、7～9月期) 米国 PCEコアデフレーター(3次速報、7～9月期) 米国 耐久財受注(速報、11月) 米国 製造業受注(速報、11月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、12月)	
24 日本 振替休日 米国 シカゴ連銀全米活動指数(11月)	25 日本 企業向けサービス価格(11月) 日本 景気動向指数(確報、10月)	26 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(10月)	27 日本 新設住宅着工(11月) 米国 新築住宅販売(11月) 米国 消費者信頼感指数(12月)	28 日本 失業率(11月) 日本 東京都都区消費者物価(12月) 日本 鉱工業生産(速報、11月) ドイツ 消費者物価(速報、12月)	
31 日本 大晦日 米国 シカゴ購買部協会景気指数(12月)					

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2018年11月28日	メインシナリオへのリスク点検～FRBは来年こそ変わる～
2018年11月27日	続・「安全資産としての円買い」が勢いつかない理由
2018年11月26日	ECB政策理事会議事要旨～TLTRO3の行方～
2018年11月22日	週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会～イタリアにとっては辛いポリシーミックス～)
2018年11月21日	ノーディールを視野に入れ始めたポンド相場
2018年11月20日	ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について
2018年11月19日	イタリア政局を巡る現状と展望～制裁が視野に～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年10月分)
2018年11月16日	週末版
2018年11月15日	メイ首相、最後の戦いへ～「外」から「内」へ～
2018年11月14日	ドル/円相場、現水準をどう理解すべきか
2018年11月13日	四面楚歌のユーロ相場～「5つの不安」～
2018年11月12日	円相場の基礎的需給環境の現状と展望
2018年11月9日	週末版(米中間選挙の見通しへの影響～不透明感後退も見通し大勢に影響なし～)
2018年11月8日	メンツを賭けた「7.0防衛」の危うさ～外準減少を受けて～
2018年11月7日	示唆される世界経済の先行き減速懸念～PMIとCLI～
2018年11月6日	露わになるユーロ圏の経済減速～注目されるECBの挙動～
2018年11月5日	米景気改善の「きわみ」～悩ましい貯蓄率の読み方～
2018年11月2日	週末版(ドル相場の近況に思うこと～ドル高の背景と今後の勘所～)
2018年10月30日	「メルケルなきEU」の幕開け～理想主義の後始末へ～
2018年10月29日	メインシナリオへのリスク点検～「高値波乱含み」という警告～
2018年10月26日	週末版(ECB政策理事会を終えて～不安を煽るECBの強気～)
2018年10月25日	ECB政策理事会プレビュー～再投資方針の行方～
2018年10月24日	「安全資産としての円買い」が勢いつかない理由
2018年10月23日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年9月分)
2018年10月19日	週末版(FOMC議事要旨を受けて～「鏡に映った自分」に踊るFRBの危うさ～)
2018年10月18日	為替政策報告書を受けて～抜きん出た中国の取り扱い～
2018年10月17日	ブレグジットを巡る近況整理～曖昧な危機認識～
2018年10月16日	ユーロ相場と資本フローの近況
2018年10月15日	為替条項要求の冷静な読み方～底うほど弱点として露呈～
2018年10月12日	週末版(国際と信統計が示唆するドル高リスク～ドル建て債務を如何に軟着陸させるべきか～)
2018年10月11日	NYダウ平均株価の大幅調整について～起こるべくして…～
2018年10月10日	ベシス上昇と米金利上昇とドル/円上昇の関係
2018年10月9日	米9月雇用統計を受けて～「想定外の加速」は継続中～
2018年10月5日	週末版(ECBが迎える「未知の世界」～緊縮下での金融引き締め～)
2018年10月4日	ドイツ化するユーロ圏～求められる正しい陣頭指揮～
2018年10月3日	イタリア政局の整理～今回ばかりはイタリアに言い分も～
2018年10月2日	外国人労働者受け入れ拡大～昔「円高是正」、今「人手不足」～
2018年10月1日	円高見通しが実現していない理由
2018年9月28日	週末版
2018年9月27日	FOMCを終えて～見えてきた転換点～
2018年9月25日	メインシナリオへのリスク点検～オーバーキルを巡る見解～
2018年9月21日	週末版
2018年9月20日	安倍首相による緩和撤退宣言～言うは易し…だが～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年8月分)
2018年9月19日	市場は「振り返り」を浴びるまで分らないのか？
2018年9月18日	基軸通貨ユーロという「見果てぬ夢」～機能面からの再考～
2018年9月14日	週末版(ECB政策理事会を終えて～再投資方針とユーロ高に対するヒントあり～)
2018年9月13日	突然の基軸通貨宣言をどう読むか～ユンケル発言について～
2018年9月12日	続・リーマン10年で注目される次のショックの「芽」
2018年9月10日	リーマン10年で注目される次のショックの「芽」
2018年9月7日	週末版(「次の標的は日本」の本気度～第2回日米貿易協議(FFR)を前に～)
2018年9月6日	軟化を続けるソフトデータ～皮肉な米経済の好調～
2018年9月5日	ECB利上げを巡り政治的な動き？～ECOFINのテーマに～
2018年9月4日	主要通貨で「膠着」が続く理由～敵寄せは新興国に～
2018年9月3日	「保護主義は中間選挙まで」という危うい楽観
2018年8月31日	週末版
2018年8月29日	米国株独り勝ちをどう読むか？～BISビューに基づく抑制へ～
2018年8月28日	メインシナリオへのリスク点検～高まる欧州政治リスク～
2018年8月27日	ECB総裁が欧州委員長か～メルケル独首相の憂心～
2018年8月24日	週末版
2018年8月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年7月分)
2018年8月17日	週末版(2018年上半期の対米資本フローの整理～色褪せる「カネ余り」、「ゴルドロックス」～)
2018年8月15日	イタリア国債利回りの急騰～もう1つの潜在的危機～
2018年8月14日	第二次資本流出局面が始まったのか？
2018年8月13日	トルコショックの真の脅威は「欧州難民危機」の再燃
2018年8月10日	週末版
2018年8月9日	ポンド安が支えるユーロ堅調～元安、トルコリラ安も～
2018年8月8日	2018年上半期の円相場の基礎的需給環境
2018年8月7日	中国の米国債売却はあり得るのか？
2018年8月6日	ソフトデータが暗示する世界経済失速
2018年8月3日	週末版(BOE利上げの正しい読み方～市場の本音は「理解に苦しむ」～)
2018年8月2日	FOMCを終えて～肅々とオーバーキルを予想～
2018年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて～いつまでもチャンスは無い～
2018年7月30日	メインシナリオへのリスク点検～いよいよ「伝家の宝刀」？～
2018年7月27日	週末版(ECB政策理事会を終えて～金利ガイダンスの正しい読み方～)
2018年7月26日	日銀正常化観測と日米貿易協議(FFR)の関係性
2018年7月20日	週末版(「グレートモデレーション」再来を疑う時～「保険の売り」は慢心の表れ～)
2018年7月19日	危うい「理由なきドル/円上昇」～金利・物価情勢は支持せず～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年6月分)
2018年7月17日	貿易戦争懸念と為替市場の現状～一部市場に異変も～
2018年7月13日	週末版(「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」～米国のクレジットスプレッドは着実に拡大中～)
2018年7月12日	ドイツ住宅市場の現状と展望～見過ごされる「バブルの芽」～
2018年7月10日	混迷を深めてきた英国のEU離脱プロセス～論点整理～
2018年7月9日	米中間戦の時～欧州も巻き込み貿易大戦の様相か？～
2018年7月6日	週末版
2018年7月5日	ECBを待ち受ける隘路～「試練の秋」～
2018年7月4日	EUが迎える新たな危機～債務危機から難民危機へ
2018年7月3日	米中貿易摩擦の読み方～「振り返り」は避けたい米国～
2018年7月2日	2018年上半期を終えて～予測の王道は変わらず～
2018年6月29日	週末版